

公益社団法人 栗東市シルバー人材センター
第二次中期計画に対する意見募集（パブリックコメント）の結果について

令和4年4月 20 日
公益社団法人栗東市シルバー人材センター
理事長 高野正勝

公益社団法人栗東市シルバー人材センターの第二次中期計画について、意見募集を行いました。頂いた1件のご意見については、理事会に報告するとともに、第二次中期計画策定の参考とさせて頂きました。

意見募集の結果については、理事会報告後に、センターのホームページにて公開させていただきます。

(1) 意見募集の手續等

- 期間:令和4年1月21日から令和4年2月4日
- 意見募集の周知方法:令和4年1月21日に当センターのホームページに掲載及び当センターの窓口で閲覧可能としました。
- 意見受付方法:電子メール、郵便、持参、ファックス

(2) 意見を寄せられた方の概要

- 意見数:1件

(3) 提出された意見及び意見に対する回答:次のページ

第二次中期計画 会員からのパブリックコメントに対する回答について

意見

「第 1 次中期計画の総括」の項目で P.7「就業先を選ばないのであれば、多くの会員が就業できる状況であります。」という表現は第 2 次中期計画を策定する際の第 1 次総括として適切な表現であるのか？高齢者が生涯現役では働き続けられる魅力あるシルバー人材センターの条件や要件をランダムに上げて、それに近づける計画が必要ではないか？

憲法第 22 条に職業選択の自由がうたわれ、会員一人一人が得意な分野や人生の経験が違う中で、なぜ中期計画（基本計画）策定にこのような表現がされるのか？悲しい！「職員や理事、部会の代表から意見を頂いた」とあるが、…

回答

ご意見ありがとうございました。

就業率を向上させることは、会員にとっても発注者にとっても、またセンターにとっても大変重要です。

発注者のご依頼に応えられないということはセンターの信頼に関わることであり、会員に無理やり仕事を押し付けるということはセンターのあるべき姿ではないと認識しています。センターはその間で苦慮しています。

ご指摘の「適正な表現であるか」とのご意見については真摯に受け止め、会員に誤解をまねかない表現に見直しをさせていただくこととします。

また、具体的な計画等については、毎年の事業計画の中で示していければと考えています。